

# 鳥取県立公文書館報

第35号  
(令和7年度)

鳥取県立公文書館



# 目 次

## 公文書館の概要

1 設置の目的	1
2 機能	1
3 組織	1
4 令和7年度予算	1
5 令和7年度事業計画	2
<b>〔 公 文 書 担 当 〕</b>	2
(1) 引継ぎ	
(2) 整理・保存	
(3) 利用提供	
(4) 普及事業	
(5) その他	
<b>〔 市 町 村 協 働 担 当 〕</b>	3
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
<b>〔 県 史 編 さん 室 〕</b>	3
(1) ふるさと教育・人材育成支援事業	
(2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	
(3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	
(4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	

## 令和6年度事業概要

<b>〔 公 文 書 担 当 〕</b>	
1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況	4
(1) 公文書管理条例第2条第4項ア及びイに該当するもの	
(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの	
(3) 刊行物等の行政資料	
(4) 寄贈資料（公文書管理条例第2条第4号ウに該当するもの等）	
2 整理・保存の状況	5
(1) 簿冊（公文書綴）等紙資料の修復	
(2) 写真資料等の修復及び電子化	
(3) 複製本の作成	
(4) 簿冊の電子化	
3 利用の状況	6
(1) 公文書管理条例第13条に基づく利用請求の状況	
(2) 行政資料等の利用状況	
(3) 一般の方の来館利用状況	
(4) 県職員の利用状況	
(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況	

4 展示の状況	7
(1) 常設展	
(2) 企画展	

**〔 市 町 村 協 働 担 当 〕**

5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進	7
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
(2) 企画展（再掲）	
(3) 公文書館と図書館、博物館との連携	
(4) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業	

6 普及・啓発	8
(1) 松江市文書館（仮称）基本計画検討委員会委員委嘱	
(2) 令和6年度鳥取県新規採用職員基礎研修	
(3) 令和6年度鳥取県新規採用職員基礎研修	
(4) 県立倉吉総合看護専門学校 「出前説明会」	
(5) 鳥取市歴史博物館 おうちだにアカデミー	
(6) 八頭町立八頭中学校 「歴史探究授業」	
(7) 東海鳥取県人会 「鳥取県の歴史を考える会」	
(8) おしどり学園一閉講式・記念講演一	
(9) 日野町古文書に親しむ会	
(10) 下谷中山鉄山跡調査指導委員会委員 受嘱	
(11) 鳥取県立公文書館報第34号の発行	

**〔 県 史 活 用 担 当 〕**

1 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	9
(1) 新鳥取県史を学ぶ講座	
(2) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催	
2 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	10
(1) 新鳥取県史収集資料の整理と公開	
3 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	10
(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業	
(2) オーラルヒストリー調査事業	

# 公文書館の概要

## 1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県等の公文書、その他の記録などを保存し、県民の利用に供するとともに、調査研究を行うため設置し、県、市町村及び県民等が相互に連携し、協力して行う歴史資料として重要な史料の保存及び利用に関する中心的役割を果たすものとする。

## 2 機能

### (1) 公文書の引継ぎ、整理及び保存並びに一般利用

鳥取県公文書等の管理に関する条例（以下「公文書管理条例」という。）に基づき、歴史公文書等のうち、特定歴史公文書等として引き継いだものを整理・保存するとともに、一般利用に供する。

### (2) 行政資料などの排架

行政資料・統計資料を自由に閲覧できるよう閲覧室に排架する。

### (3) 情報の提供

県の施策その他県政に係る歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供する。

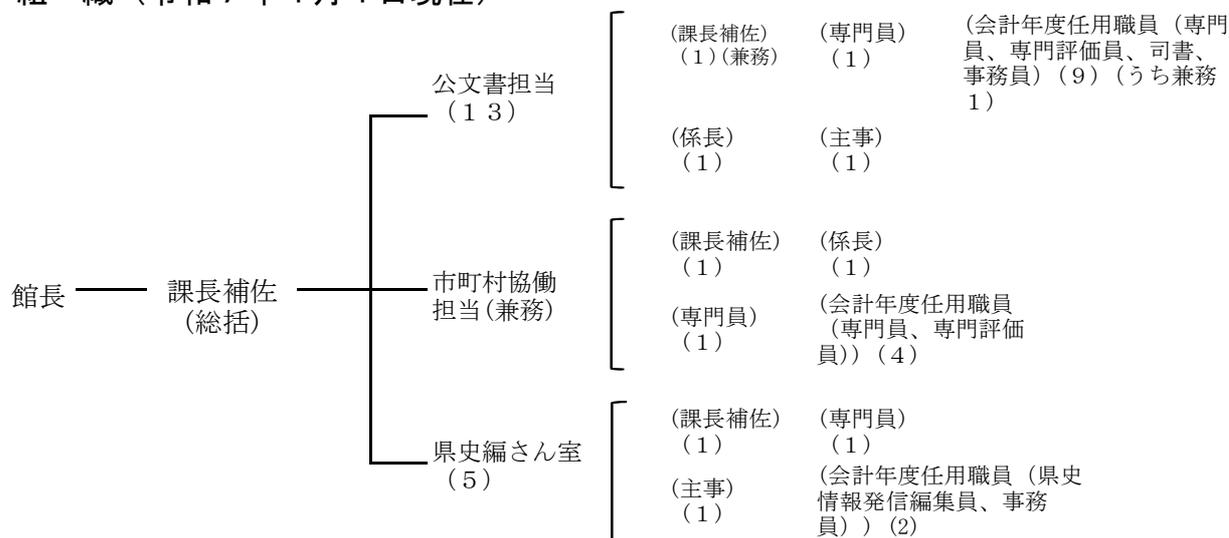
### (4) 市町村・県民等との連携・協力

市町村・県民等の保有する歴史資料として重要な資料の保存・利用に関する専門的な情報の提供、技術的な助言等を行う。

### (5) 県史編さん情報の活用推進

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した資料の公開や活用を推進するとともに、報告書等の刊行、講演会の開催等の普及事業を実施する。

## 3 組織（令和7年4月1日現在）



## 4 令和7年度予算

(単位：千円)

事業名	当初予算額
公文書等収集・管理・利活用事業	4,528
公文書館管理運営費	11,225
ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業	1,916
県史編さん事業	1,841
合計	19,510

## 5 令和7年度事業計画

### 〔公文書担当〕

#### (1) 引継ぎ

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、早期に利用制限情報に関する審査や公文書管理条例制定前引継文書の再評価を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 書庫の狭あい化に備えて、当面の書庫管理の適正化を図る。

#### (2) 整理・保存

- ア 公文書綴り(簿冊)等紙資料の修復  
劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料を、専門事業者に委託して脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスト)等で修復する。軽易な修復は職員が行う。
- イ 写真、映画フィルムの電子化  
原板(ネガ・ポジ、フィルム等)は専用フォルダ等に収納する。電子化されたデータを整理・目録化するとともに一部をとってデジタルコレクションに掲載する。
- ウ 複製本の作成  
簡易製本されている資料を複製本化する。
- エ 書庫の管理  
IPM(総合的有害生物管理)を利用して管理するとともに、温湿度の管理を徹底する。  
〔※IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートの遮断等予防に重きを置く方法。〕
- オ 所蔵資料を保存し利活用するための基盤整備  
公文書管理条例施行前引継ぎ文書の再評価を行う。利用制限の事前審査を行う。デジタル化資料のとりデジタルコレクションでの公開をすすめる。

#### (3) 利用提供

収集・整理した保存文書を、公文書管理条例に基づき、利用提供する。

#### (4) 普及事業

- ア 常設展  
展示コーナー(館内及び共通通路)において、県政に関わる資料を展示する。共通通路については、話題性のある資料をもとに、年2回程度の入替を行う。
- イ 企画展  
「初公開の大火写真帳『立ち上る鳥取市』」  
(会期：令和7年4月11日(金)～4月28日(月))  
「鳥取県ができるまで」  
(会期：令和7年9月2日(火)～9月18日(木) 予定)  
戦後80年特別企画展「兵士と家族―戦争に翻弄された人々の記録―」(仮)  
(会期：令和7年11月14日(金)～12月24日(水))

#### (5) その他

公文書管理条例第26条及び鳥取県立公文書館管理運営要綱第27条に基づき、公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第35号を作成し、当館ホームページで公開する。

## 〔市町村協働担当〕

### (1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

ア 現用公文書及び歴史公文書等の適切な管理・保存活用のための取組

(ア) 職員の資質向上のための研修

a 公文書等の適切な保存及び利活用に関する研修会

b 資料保存・修復研修会

(イ) 市町村訪問による歴史公文書等の評価選別・保存活用推進

イ 災害時等の資料の滅失・破損防止のための取組

(ア) 災害時等の連携・協力

## 〔県史編さん室〕

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史資料を有効に活用するため、「ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業」として、関係機関と連携しながら、以下の事業を実施する。

### (1) ふるさと教育・人材育成支援事業

ア 市町村事業の支援・協力

### (2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

ア 新鳥取県史を学ぶ講座

歴史講座「『鳥取県写真史』を執筆して」の開催

期 日：令和7年6月15日（日）

会 場：とりぎん文化会館

民俗講座「伯州綿」の開催

イ 「占領期の鳥取を学ぶ会」の開催

鳥取市歴史博物館と共催で「GHQ軍政レポート」を県民参画で解説

### (3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

ア 新鳥取県史収集資料の整理と目録・写真等の公開

イ 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

### (4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業

ア 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業

県政・財界等の関係者や高度経済成長期等に関する県民からの聞き取り

『オーラルヒストリー「とっとりの記憶」2 清末忠人』刊行

イ 県史編さん会議の開催

通史編（現代）の編さんに向けて、事業内容等について専門的意見を聴取するため有識者等による会議を開催

## 令和6年度事業概要

### 〔公文書担当〕

#### 1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況(令和7年3月31日現在)

(1) 公文書管理条例第2条第4項ア及びイに該当するもの

令和6年度は1,161冊の引継ぎを行い、合計58,716冊となった。(単位:冊)

区 分		保 存 区 分	令和5年度まで	令和6年度	合 計	
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	31,837	810	32,647	
		10年以下(旧有期限)	15,889 (159)	195	16,084 (159)	
	地方機関	30年(旧永年)	1,737	6	1,743	
		10年以下(旧有期限)	1,185 (36)	10	1,195 (36)	
小 計	30年(旧永年)	33,574 (0)	816 (0)	34,390 (0)		
	10年以下(旧有期限)	17,074 (195)	205 (0)	17,279 (195)		
知事部局以外	教育委員会	本庁	30年(旧永年)	2,299	16	2,315
		10年以下(旧有期限)	1,259 (16)	32	1,291 (16)	
	県立学校	—	762 (6)	56	818 (6)	
	公安委員会	—	15	3	18	
	警察本部	30年(旧永年)	132	0	132	
		10年以下(旧有期限)	23	3	26	
	選挙管理委員会	30年(旧永年)	0	0	0	
		10年以下(旧有期限)	12	0	12	
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266	
		10年以下(旧有期限)	20	1	21	
	監査委員	30年(旧永年)	32	0	32	
		10年以下(旧有期限)	610	22	632	
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431	
		10年以下(旧有期限)	3	0	3	
	収用委員会	—	2	0	2	
	海区漁業調整委員会	—	15	1	16	
	病院事業管理者	—	59 (1)	6	65 (1)	
企業局	—	1	0	1		
公立鳥取環境大学	—	1	0	1		
住宅供給公社	—	1	0	1		
土地開発公社	—	9	0	9		
小 計	—	5,952 (23)	140 (0)	6,092 (23)		
県議会	30年(旧永年)	955	0	955		
合 計			57,555 (218)	1,161 (0)	58,716 (218)	

- ① 公文書管理条例施行に伴い、保存区分が見直され永年が30年となった。また、知事部局をはじめとする15機関が公文書館へ公文書を引き継ぐ機関として位置づけられた。(表には引継ぎのあった機関のみを掲載)
- ② 知事部局本庁の10年・5年保存(旧有期限)文書については、平成23年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(平成24年4月1日廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。知事部局地方機関については、平成7年度から知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ③ 知事部局以外の機関については、教育委員会本庁(平成8年度から)、人事委員会(平成10年度から)、労働委員会(平成10年度から)、県議会(平成10年度から)、監査委員(平成22年度から)それぞれ知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ④ 警察本部の30年(旧永年)については、現行警察制度以前(明治～昭和22年)の文書を平成16年度に引き継いだものである。
- ⑤ 年度末時点で引継ぎが完了していない簿冊は、当該年度の引継数には計上せず、翌年度に前年度までの所蔵数に加えている。
- ⑥ 令和元年度館報から電子簿冊数をかっこ(内数)で計上した。
- ⑦ 所蔵資料の再選別により廃棄又は移管したものは、前年度までの所蔵数に反映させた。

(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの

当館所蔵公文書等の不足分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集しており、また、当館所蔵の劣化した公文書及び県史編さん収集資料についても複製保存している。

(単位:コマ数)

区 分		令和5年度まで	令和6年度	計
欠 落 公 文 書 の 充 補 充	県内市町村関係	63,654	0	63,654
	島根県関係	59,381	0	59,381
	福島県移住関係	12,144	0	12,144
	北海道移住関係	18,789	0	18,789
	国立公文書館	477	0	477
	学校調査関係	569,615	0	569,615
	その他	11,592	0	11,592
計	735,652	0	735,652	
劣 化 公 文 書		85,355	0	85,355
県史編さん収集資料		108,493	0	108,493
合 計		929,500	0	929,500

(3) 刊行物等の行政資料

(単位:冊)

区 分		令和5年度まで	令和6年度	計
行 政 資 料		38,373	721	39,094
統 計 資 料		23,770	145	23,915
合 計		62,143	866	63,009

※ 内規による廃棄を実施しているため数が減少する場合がある

(4) 寄贈資料(公文書管理条例第2条第4号ウに該当するもの等)

(単位:点)

区 分		令和5年度まで	令和6年度	計
県史編さん関係原文書		362	0	362
寄 贈 資 料		10,532	11,873	22,405
合 計		10,685	11,873	22,767

※ 県史編さん関係原文書のうち、17点を平成29年度に県立博物館に移管

※ 寄贈資料のうち、288点を令和3年度に県立博物館に移管

## 2 整理・保存の状況

(1) 簿冊(公文書綴)等紙資料の修復

劣化・破損の著しい簿冊や書籍、寄贈を受けた貴重資料等を脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスト)等で修復した。(事業者委託分)

区 分	令和5年度まで	令和6年度	計
簿 冊	30	5	35冊
図 面 類	614	0	614舗
上記以外の紙資料	78	6	84点

(2) 写真資料等の修復及び電子化

劣化・破損の著しい写真アルバムの修復とともにマイクロフィルム、その他の写真フィルム等の電子化を実施した。

区 分	令和5年度まで	令和6年度	計
写真アルバムの修復	25	1	26冊
マイクロフィルムの電子化	273,383	12,206	285,589コマ
写真フィルムの電子化	69,525	1,442	70,967コマ
映画フィルムの電子化	7	1	8巻
絵葉書の電子化	443	0	443点
絵図・地図の電子化	83	0	83舗

## (3) 複製本の作成

原本保存と利用者の利便性を図るため、原本やマイクロフィルム等を複製本化した。

区 分	令和5年度まで	令和6年度	計
複製本作成	1,785	0	1,785冊

## (4) 簿冊の電子化

センター機能強化・充実事業として、簿冊の電子化した。

区 分	令和5年度まで	令和6年度	計
簿冊の電子化	15,061	151	15,212コマ

## 3 利用の状況

## (1) 公文書管理条例第13条に基づく利用請求の状況

区 分	請求者数 (人)	請求件数 (件・枚)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書	32	143	126	17	0	-
寄贈寄託資料	14	63	54	9	0	-
写真・映像等	39	623	623	0	0	-
合 計	85	829	803	26	0	0

## (2) 行政資料等の利用状況

区 分	利用者数 (人)	件数 (件)
一般の利用	59	114
県職員	23	143

## (3) 一般の方の来館利用状況

月別	来館者数	内 訳				
		開架資料閲覧 展示閲覧	相談・案内			写しの交付
			簿冊・閉架資料閲覧			
人	人	人	人	冊	枚	
4月	682	619	63	3	4	3
5月	277	232	45	2	10	23
6月	226	191	35	3	6	422
7月	254	235	19	1	0	14
8月	309	274	35	1	1	213
9月	450	412	38	6	31	340
10月	275	259	16	4	6	1
11月	475	450	25	1	1	43
12月	728	701	27	8	65	22
1月	337	319	18	0	0	13
2月	207	182	25	4	37	121
3月	248	225	23	9	29	47
令和6年度計	4,468	4,099	369	42	190	1,262

上記のほかに電話、メールによる相談・案内が41人あり。

## (4) 県職員の利用状況

年 度	利用者数 (人)	資料閲覧・貸出 (冊)
令和6年度	247	1,174

## (5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況

年 度	閲覧回数 (回)
令和6年度	389,062

## 4 展示の状況

### (1) 常設展

鳥取県の誕生からの明治期の資料、昭和20年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した昭和30年代初頭のカラー写真等を展示した。

### (2) 企画展

#### ア 企画展

テーマ：君野順三が見た鳥取大火

内容：令和4年度に寄贈を受けた、君野順三（きみのじゅんぞう、1883～1954、弁護士・鳥取県会議員）旧蔵写真9点を初公開するとともに、関連資料6点を合わせて展示した。

会期：令和6年4月12日（金）～4月28日（日）

入館者：551人

#### イ 企画展

テーマ：鳥取県ができるまで

内容：明治2年の版籍奉還から鳥取県の誕生（明治4年）、島根県への合併（明治9年）、鳥取県再置（明治14年）、再置後の県政及び明治30年代の府県の再編計画について展示した。

会期：令和6年9月3日（火）～9月19日（木）

入館者：346人

#### ウ 企画展

テーマ：写真・公文書で振り返る 1970年代の鳥取

内容：令和7年4月から開催される日本国際博覧会（大阪・関西万博）を前に、前回開催された大阪万博（1970・昭和45年）や1970年代の世相や出来事（境水道大橋の開通や鳥取砂丘こどもの国の開園、鳥取駅高架建設、オイルショック等）に関する写真・公文書を展示した。併せて鳥取市の写真家・田賀久治が1970年代に撮影した茅葺きの民家の写真も紹介した。

会期：令和6年11月22日（金）～12月22日（日）

入館者：979人

## 〔市町村協働担当〕

## 5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

### (1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

#### ア 共同会議

開催日：令和6年11月18日（月）

内容：講義、事例発表、意見交換等

講義演題：松江市史からアーカイブズへー歴史公文書の保存と活用を目指してー

講義講師：松江市 松江城・史料調査課 史料調査係長 小山 祥子 氏

参加人数：36人

#### イ 資料保存・修復研修会

開催日：令和7年3月6日（木）

内容：講義、紙資料の修復（裏打ち、繕い）

講師：修復工房HATA Studio代表 秦 博志氏

参加人数：18名

#### ウ その他連携

視察市町村及び訪問日：倉吉市 令和6年7月23日（火）

内容：倉吉市歴史公文書等評価選別委員会委員等が当館の書庫を見学し、公文書の保存方法、評価選別について意見交換を行った。

(2) 企画展（再掲）

テーマ：写真・公文書で振り返る 1970年代の鳥取

内容：令和7年4月から開催される日本国際博覧会（大阪・関西万博）を前に、前回開催された大阪万博（1970・昭和45年）や1970年代の世相や出来事（境水道大橋の開通や鳥取砂丘こどもの国の開園、鳥取駅高架建設、オイルショック等）に関する写真・公文書を展示した。併せて鳥取市の写真家・田賀久治が1970年代に撮影した茅葺きの民家の写真も紹介した。

会期：令和6年11月22日（金）～12月22日（日）

入館者：979人

(3) 公文書館と図書館、博物館との連携

- ・3館及び理蔵文化財センターで令和3年3月に公開したデジタルアーカイブ（とっとりデジタルコレクション）について、定期的に連絡会議を行うとともに、新たにデジタル化した資料を追加した。
- ・公文書館と文化財課、図書館、博物館の担当職員による「災害時等における県関係機関と市町村等との連携・協力実施計画」に係る連絡会議を実施した。
- ・館長及び担当職員による「公文書館・図書館・博物館連携会議」を実施した。

(4) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業

災害時文書搬出必要資機材の備蓄

中性紙箱、真空圧縮袋、無水エタノール、運搬用折りたたみコンテナ等の管理

## 6 普及・啓発

(1) 松江市文書館（仮称）基本計画検討委員会委員委嘱

期間：令和6年3月から令和7年3月まで

内容：「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、松江市の歴史的に重要な公文書や地域に残る歴史史料を収集（評価・選別）・保存・整理・公開する松江市文書館（仮称）の基本計画を策定するに当たり、行政委員として委員会に出席した。

委嘱者：井上 加奈子

(2) 令和6年度鳥取県新規採用職員基礎研修

期日：令和6年4月5日（金）

内容：「公文書等の適切な保存及び利活用」について講義を行った。

講師：井上 加奈子

受講者：153人

(3) 令和6年度鳥取県新規採用職員基礎研修

期日：令和6年4月9日（火）

内容：「鳥取県の歴史・文化」について講義を行った。

講師：伊藤 康

受講者：153人

(4) 県立倉吉総合看護専門学校 「出前説明会」

期日：令和6年6月5日（水）

内容：「鳥取県ができるまで」について講義を行った。

講師：伊藤 康

受講者：23人

(5) 鳥取市歴史博物館 おうちだにアカデミー

期日：令和6年6月23日（日）

内容：「明治の写真師 喜多村勘四郎・留蔵」について講義を行った。

講師：池本 美緒

受講者：18人

- (6) 八頭町立八頭中学校 「歴史探究授業」  
期 日：令和6年7月8日（月）～9日（火）  
内 容：「史料から考える戦時下の暮らし」について講義を行った。  
講 師：池本 美緒  
受講者：3学年 134人
- (7) 東海鳥取県人会 「鳥取県の歴史を考える会」  
期 日：令和7年2月8日（土）  
内 容：「明治の写真師 喜多村勘四郎・留蔵」について講義を行った。  
講 師：池本 美緒  
受講者：20人
- (8) おしどり学園一閉講式・記念講演一  
期 日：令和7年3月27日（木）  
内 容：「貴重な資料を未来に—公文書館はこんな仕事をしています—」  
について講義を行った。  
講 師：伊藤 康  
受講者：35人
- (9) 日野町古文書に親しむ会  
期 日：原則毎月第4日曜日（午前10時30分～正午、11回開催）  
内 容：「日野郡黒坂村福田丹波支配筋一件諸事控書抜」「日野郡寺社」  
「会見郡寺社」を解説した。  
講 師：伊藤 康  
受講生：8人／回  
その他：午後から資料整理を行った。
- (10) 下谷中山鉄山跡調査指導委員会委員 受嘱  
期 間：令和7年1月から令和8年3月まで  
内 容：日南町指定史跡である「下谷中山鉄山跡」の国指定史跡化に向け、調査方法等  
についての検討委員会に出席した。  
受嘱者：池本 美緒
- (11) 鳥取県立公文書館報第34号の発行  
公文書等の管理の状況を公表するため、鳥取県立公文書館報第34号を作成し、令和6  
年5月にホームページで公開した。

## 〔県史活用担当〕

### 1 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

#### (1) 新鳥取県史を学ぶ講座

##### ア 歴史講座「鳥取県の銅鐸・武器形青銅器の研究」

期 日：令和6年8月25日（日）

会 場：とりぎん文化会館第1会議室

講 師：難波 洋三（島根大学客員教授）

：吉田 広（愛媛大学ミュージアム教授）

参加者：41名

##### イ 民俗講座「鳥取県の絁—倉吉と弓浜—」

期 日：令和7年2月1日（土）

会 場：倉吉交流プラザ第1研修室

講 師：（第1部）関本 明子（倉吉博物館主幹（学芸員））

（第2部）山本 恭子（米子市立山陰歴史館副館長）

参加者：100名

## (2) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催

英文の鳥取軍政部活動報告を解説し、占領期の鳥取について学ぶ県民参加の連続講座を鳥取市歴史博物館と共同で開催した。

期 日：5月18日(土)、6月15日(土)、7月20日(土)、  
8月17日(土)、9月21日(土)、10月19日(土)、  
11月16日(土)、12月21日(土)、1月25日(土)、  
2月15日(土)、3月15日(土)

会 場：鳥取市歴史博物館

助言者：澤田 晶子(翻訳家)

参加者：毎回10～15人

## 2 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

### (1) 新鳥取県史収集資料の整理と公開

新鳥取県史編さん事業等で調査・撮影した歴史・民俗資料について、公開用の目録作成、写真データの整理等を行い、郷土学習や歴史研究等の活用に供するため、資料データや写真画像・図面等を「とっとりデジタルコレクション」で公開した。

○「とっとりデジタルコレクション」でこれまでに公開した資料数

分類	資料群件数	資料点数	概要等
古文書資料	73	1,041	県内外の個人蔵の中世文書
古記録資料	36	51	県内の棟札・金石文等
民俗資料	1	58	北栄町郷土資料館所蔵民具資料
考古資料	672	87	県内主要遺跡データ・実測図
旧県史刊行物	25	25	『鳥取藩史』等のPDF版
新県史刊行物	23	23	『新鳥取県史』の情報
	830	1,285	

## 3 鳥取県の特色ある歴史文化の調査研究事業

### (1) 鳥取県災害アーカイブズ事業

#### ア 事業概要

過去の歴史資料や文献資料から、これまでに鳥取県内で発生したさまざまな災害事例を抽出し、その発生時期・地域・災害種類等をデータベース・アーカイブズとして公開する。

#### イ 鳥取県災害アーカイブズの公開

県内で近世以降に発生した主な災害について、各種史料・文献を参照して年表にまとめたものを掲載。その中で多くの記録が残る嘉永3年(1850)の洪水と嘉永7年(1854)の地震に関する史料から、計306点の情報を抽出したデータベースを作成し、画像等と合わせて公開した。

#### ウ 鳥取県災害アーカイブズ検討会議の開催

期 日：(第1回)令和6年7月25日(木)

(第2回)令和7年1月31日(金)

会 場：(第1回)ハイブリット開催(公文書館 会議室)

(第2回)ハイブリット開催(公文書館 会議室)

検討会議メンバー(所属・役職は、開催当時のもの)

氏名	所属・役職	専門分野等
榎原 雅治(座長)	公益財団法人地震予知総合研究振興会 副主席主任研究員	日本史学(中世)
西山 昭仁	奈良文化財研究所 客員研究員	日本史学(近世)
村田 泰輔	奈良文化財研究所 主任研究員	災害考古学、地質学
香川 敬生	鳥取大学工学部 教授	地震工学
西村 修一	鳥取地方気象台 次長	災害・気象情報
小山 富見男	鳥取地域史研究会 会長	日本史学(近現代)
来見田 博基	鳥取県立博物館 主任学芸員	日本史学(近世)
佐藤 紘一	鳥取県立図書館 学芸員	日本史学(近世)

(2) オーラルヒストリー調査事業

ア 事業概要

戦後の本県の政治・経済・社会その他諸分野で活躍してきた人々の証言を記録化し、貴重な歴史資料として後世に伝える。収集した証言記録は、将来的には通史編（現代）の編さんにも活用する。

イ 「オーラルヒストリー調査報告書」編集会議の開催

期 日：（第1回）令和6年5月31日（金）  
（第2回）令和7年2月11日（火）

場 所：公文書館 会議室

内 容：報告書の内容・構成について

検討会議メンバー（調査委員）

氏名	所属・役職等	備考
小山 富見男	鳥取地域史研究会会長	元現代部会長
西村 芳将	県青谷かみじち史跡公園所長	元県史編さん室現代担当職員

## 利用案内

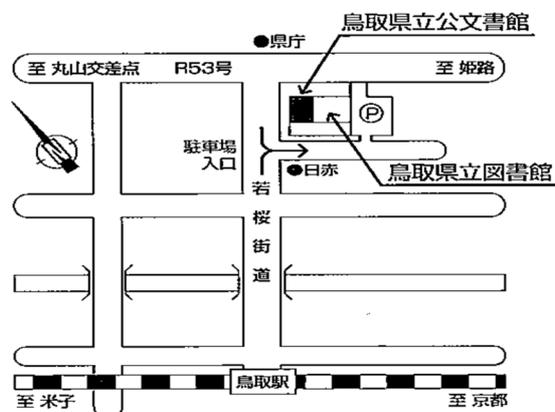
### 開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

### 休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日でも入館できます。

## 案内図



徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ  
徒歩20分

バス 鳥取バスターミナルより  
湖山・鳥大線、賀露線など  
「県庁日赤前」下車徒歩1分

## 鳥取県立公文書館報

第35号—令和7年度—

令和7年5月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館  
〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地  
電話 (0857)26-8160  
ファクシミリ (0857)22-3977  
電子メール kobunsho@pref.tottori.lg.jp  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho>